

柔らかなココロ



「時間認知」

「どれくらいかかりますか？時間とお金」 買い物の時、迷ったらこのフレーズを使ってしまう私。買い物や物事を決める時、割とすんなり決断すると自負しているが迷う時だってある。

最近世間でよく使われるようになった‘コスパ（コストパフォーマンス）’は、仕事を持ち、妻であり母となった今、重要視する項目の一つだ。現在の私にとって時間はたいへん貴重なもので、いくら時間があっても足りないとはこういうことか・・・と、思い知らされる。

そう、今こうやって書かせて頂いている原稿を打つパソコンの隣には息子の寝顔がある。起きている時に打とうものならキーボードを押したいとせがまれ、拒否するとノートパソコンを容赦なく占められる。まともに打てず思考が飛びまくって文章なんかにならない。だから、まだ世が薄暗い明け方にこそそそとノート型パソコンの前で思い立った言葉をつらつらと連ねる。

足りない時間と言えば、試合でポイントを取った後のラスト1分なんていうのは、選手は勿論、監督・応援するものとしては気が遠くなるほど時間が長く感じる。逆の立場だとびっくりするくらい短く感じてしまうのが時間というもので、スポーツ心理学の中では‘時間認知’と呼ばれている。

待ち遠しいという言葉があるように、楽しいコトを待つ時間は長い。そして、そのコトが充実していればしているほど過ぎ去るのも早い。出産を控えていたほんの数年前の私は待ち遠しい気持ちを抑えきれず時間を持て余していたこともあったが、子育ての今は目まぐるしい毎日についていくのがやっとだ。

そんな毎日もしっかりとあと数年。どんどん成長していく子ども達に置いてきぼりにされないように自分自身も成長していきたい。遠い未来の私が今の私を振り返り、充実した毎日を送っていてあっという間だったと言えるよう、じたばた前に進んでいこうと思っている今日この頃である。

(近藤 優子)